

こうふ



全国消防操法の栄に輝く! 全国優勝(ポンプ車の部) 江府町消防団・第1分団 (愛知県蒲郡市)

◎主な内容

- 祝 全国消防操法大会優勝 2~3
- 第12回米食味分析鑑定コンクール国際大会のご報告 4~5
- 町の話 6~7
- 安全な除雪作業にみなさんのご理解とご協力をほか 8
- みんなで防ごうインフルエンザほか 9
- 江府小学校学習発表会 10
- 小地域懇談会を振り返って ① 11
- 特設相談所、人権コーナー「和い輪いひろば」 12
- 第14回「人権・和同問題」啓発作文・標語 入選作品 13
- 学校おたすけ隊だより カイル先生のほのぼのコラム③ 14
- 卓球大会、県教委表彰 15
- 図書館まつりほか 16
- 12月の本棚~町立図書館より~ 17
- 農業委員会だより 18
- 情報コーナー 19
- 行事あれこれ 20
- 人の動きほか 21
- 子どもの国保育園 親子そば打ち体験 22

祝 全国消防操法大会優勝

江府町消防団第一分団、華麗な消防操法で全国制覇

秋深い愛知県の三河路（蒲郡市）に全国都道府県の代表が集まり、第二十二回全国消防操法大会が十一月十二日に蒲郡ポートレース場の駐車場で行われました。鳥取県代表としてポンプ車の部に本町の消防団第一分団（関内分団長以下十九名）が出場。見事、全国優勝を果たしました。本町消防団はポンプ車の部で二回目の全国優勝となり、全国初の快挙を成し遂げました。

全国がどよめいた江府町消防団の操法

大会当日の午後一時三十分過ぎ、ポンプ車の部に十七番目に出場した本町消防団の操法は、竹内町長をはじめとする町議会議員、団員、関係者らが見守る中、開始されました。



全国大会で勢いよく的に向かって放水する選手

大岩指揮者以下選手五名は気迫ある的確な操法により、素早く放水して標的を倒しました。また、本町消防団の操法が進むにつれ、会場内がどよめき、操法終了の際には会場内に万雷の拍手がこだました。

歓喜に湧いた総合得点発表

本町消防団操法終了までの総合得点は、長崎県吉崎市消防団が百八十五・五点でトップでした。結果を待つ一瞬の緊張の中、いよいよ本町消防団の結果発表です。「鳥取県代表江府町消防団、総合得点百八十七点」とアナウンスがあり、大型スクリーンに結果が映し出されました。「総合得点百八十七点」と結果発表の瞬間「やった！トップだ」、「よくやった」と選手及び関係者は抱き合い歓喜の渦につつまれました。特に選手は、長くて苦しかった訓練の日々が駆け巡り感激に浸っていました。

紫紺の優勝旗、再び江府町消防団に

操法終了後、表彰式が行われ、総務省消防庁長官賞と全国消防協会会長賞の賞状及び紫紺の優勝旗が消防庁長官、大会運営委員長からそれぞれ江府町消防団に手渡されました。なお、大会での優秀選手として、二番員 森田 祐基団員、三番員 北村 勇介団員、四番員 篠村 友紀団員が鳥取県初の優秀選手賞を受賞しました。



前列左から 大岩指揮者、森田2番員、篠村4番員
後列左から 大岩1番員、中尾補助員、北村3番員

大岩団長から全国大会優勝報告

大会翌日、大岩団長以下選手が帰町し、江尾地内で全国優勝パレードを行い、町民から盛大な歓迎を受けました。

また、十一月二十五日に江府町山村開発センターにおいて、町、消防団主催による第二十二回全国消防操法大会優勝報告会並びに祝賀会が開催されました。大岩団長から「全国優勝を勝ち取りました。優勝は消防団だけの力ではなく、町民の皆様のご声援とご支援の賜物です。今後とも、消防活動に尽力をつくします」と優勝報告がありました。

念願の全国優勝を果たして



江府町消防団長
大岩 泰彦

日頃より、本町消防団にご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、第二十二回全国消防操法大会において本町消防団は全国優勝を成し遂げました。このたび、全国優勝ができましたのも町民の皆様並びに関係者の皆様のご支援とご理解があったからであります。

また、鳥取県西部広域行政管理組合消防局職員の皆様には日夜、操法指導をいただきました。団員一同、心よりお礼申し上げます。

これからも、町民の皆様が安心して暮らせますよう消防、防災活動に団員一丸となって頑張ります。今後とも消防団活動にご支援いただきますようお願い申し上げます。

出場選手優勝コメント

指揮者 班長 大岩 一彦（新一）
全国消防操法大会で優勝できたのも町民の皆様のご声援があったからです。ありがとうございます。

第二十二回全国消防操法大会結果

（ポンプ車の部）

- 優勝 鳥取県江府町消防団
一線タイム四十八・九一秒
- 二線タイム六十二・六六秒
- 総合得点 百八十七・〇点
- 長崎県吉崎市消防団
- 高知県の町消防団
- 茨城県常総市消防団

- 一番員 団員 大岩 俊輔（久連）
江府町及び江府町消防団の伝統と名誉を守り全国制覇しました。
- 二番員 団員 森田 祐基（貝田）
目標にしていた全国優勝の夢がかなって本当に良かったです。
- 三番員 団員 北村 勇介（助澤）
全国優勝ができて本当に良かったです。優秀選手賞も受賞できました。これからもがんばります。
- 四番員 団員 篠村 友紀（佐川）
春から練習を行ってきた結果、全国優勝ができました。これからも町民皆様のために消防活動を頑張ります。
- 補助員 団員 中尾 祐也（日の詰）
全国優勝ができて本当に良かったです。来年は、番員として消防操法大会に出場したいと思えます。



報告会で拍手で迎えられる大岩団長、関内第1分団長、以下選手

第十二回米・食味分析鑑定コンクール…国際大会のご報告

十一月二十、二十一日の二日間、島根県松江市にある「くにびきメッセ」を会場に「第十二回米・食味分析鑑定コンクール…国際大会」(主催 米・食味鑑定士協会ほか)が開催され、本町からは、十一月十日にJA鳥取西部日野支所で開催された「第8回日野川源流米コンテスト」の出品米の中から分析結果に基づき一般の部に十三点、小学校部門に一点が出品されました。



官能審査(食べ比べ)の様子

今回の出品総数は二千八百四十四点(国内二千八百十六点、海外二十八点)で、一般の部の審査方法は一次、二次、最終審査の三段階で行われ、一次審査は食味計とよばれる玄米の状態を計測する機械を使って行われ、八十五点以上のスコアが二次審査に進むことができます。二次審査では味度計とよばれる、お米を炊いた状態で計測する機械が使用され、一次、二次の両審査の合計点(二百点満点)の上位四十名が総合部門にノミネート。それに次ぐ成績上位者が品種部門等の各部門にノミネートとなります。最終審査は食味鑑定士の資格を持つ三十人の審査員による官能審査(食べ比べ)による投票で行われます。

なお、小学校部門については一次、二次の機械測定のみで賞が決まります。

一般の部

久木育雄さん(下安井) 環境王国認定産地部門で 特別優秀賞受賞

江府町から出品された全十三点のうち、二次審査まで進んだものが三点でした。

残念ながら、総合部門での最終審査ノミネートにはなりませんでしたが、環境王国認定産地部門の最終審査に一点がノミネートされました。

官能審査の結果、久木育雄さん(下安井)の特別栽培米コシヒカリが、食味八十七、味度八十三・一、合計百七十一・一点(県内出品者では最高得点)を獲得され、金賞につぐ特別優秀賞を受賞されました。この受賞は、昨年の桑原巧さん(大河原)に続く連続受賞となりました。



特別優秀賞を受賞された久木さん(中央)

また、惜しくも受賞は逃しましたが阿部朝親さん(荒田)は出品した二点ともが二次審査に進出。うち一点は百六十九・五点で受賞まであと一歩の好成績でした。

その他の鳥取県関係の受賞は、日野農業改良普及所で水稻の栽培指導を担当されている森岡宏顕さん(南部町)のヒトメボレが地域品種部門(中国地区)で特別優秀賞を受賞されました。

本年は夏場の異常高温の影響で全国的に得点が伸び悩んだため、最高位の総合部門最終審査ノミネート者の得点は百八十六点から百七十三点までの四十名でした。

県内を代表するお米の産地として、来年は総合部門での受賞が期待されます。

小学校の部

江府小学校五年生 特別優秀賞を受賞!

本年からスタートした江府町二五二五(ニコニコ)事業の一つ、「日本一の笑顔チャレンジ事業」として江府小学校五年生が日本一おいしい米作りに取り組んできました。

この取り組みは、空場 語さん(小江尾)をはじめ地域の皆さんのご指導により田植えや稲刈り作業のほか、生育状況の観察のほか、雑草の見分け方、水生生物の採取なども行い、毎日食べているお米の作り方について学んだものです。



コンクールで受賞した江府小学校5年生のみなさんと空場さん

収穫したお米は日本一の願いを込めてコンクールの小学校の部に出品。

結果は食味八十四点、味度七十七・六点、合計百六十二点)で上位六校(合計得点一七二点から百六十六点)に贈られる金賞にはわずかに手が届きませんでした。特別優秀賞を受賞することができました。

表彰式の待ち時間では笑顔だった児童たちも「鳥取県江府小学校五年生のみなさん」の司会者の声で担任の山本先生や空場さんとともにステージへ。

全員で揃えた「環境王国 奥大山江府町」の帽子の下から覗く緊張した表情が微笑ましい受賞となりました。

「環境を守る・美味しい米づくり推進講演会」

二日間の開催期間中にはコンクールの他にもお米にまつわる各種行事が行われました。一億十万人のお米を作る名人のほか、全国でも有名な米づくり名人五人による意見交換会のほか、「環境王国の活動実績と今後の展開」と題して認定自治体の首長が取組の発表を行い、竹内町長も特別栽培米の推進や共生の森事業、「水」をキーワードにした環境に優しい企業誘致などについて発表しました。

次回、来年の第十三回大会は環境王国認定自治体の群馬県川場村で開催予定です。



特別栽培米について発表する竹内町長(左)

第七回日野郡新そばまつり

十一月十四日、日野総合事務所駐車場第七回日野郡新そばまつりが開催されました。

今年は日野郡内のそば屋が六店、そば粉料理店が一店、福祉団体が二店、女性グループが一店出店されました。本町からは米子屋旅館、小福屋（下蚊屋）が出店されました。

各店舗が様々なメニューを出しており、昼時には長い行列ができています。店もありました。

ステージイベントではそば粉パンのホットドッグの早食い競争、アマチュアミュージシャンの演奏、お笑いライブ等が行われ多くの来場者の方で賑わいました。



新そばまつりの会場の様子

第八回日野川源流米コンテスト開催

十一月十日、JA鳥取西部日野支所で日野郡産のおいしい米のPRを目的とした「食のみやこ鳥取県」第八回日野川源流米コンテストが開催されました。

審査方法は、整粒歩合が八十%以上の米を対象に、食味計の数値が高いものから四点の最優秀賞候補を事前に選定し、当日、参加者全員が実際に食べて投票により選ばれました。

今年は百九十八点の応募の中から、日南町の高橋秀紀さんが最優秀賞を受賞されました。本町からは川上正昭さん（小原）、景山幸夫さん（宮市）が優秀賞、清水祐右さん（袋原）、山本幸人さん（西成）が奨励賞、阿部朝親さん（荒田）が今年のコンテストで食味値最上位を記録し特別賞を受賞しました。



右から優秀賞の景山さん、川上さん

今年の出品米は、食味値の平均が昨年より下がったものの、日野郡で目標としている食味値八十以上が全体の八十九%、極良食味とされる食味値八十五を超えたものが三十三%、整粒歩合八十%以上のものが五十八%あり、記録的な猛暑にもかかわらず、食味値を確保しました。

カーブミラーを清掃

十一月十四日（日）に、江府町の交通安全指導員でカーブミラーの清掃活動を行いました。

この活動は、交通安全推進のため、交通指導員が三年前から始めたものです。町内全域のカーブミラー清掃を目標としていて、今年は江尾・小江尾・久連のカーブミラーを清掃しました。カーブミラーの中には、汚れのひどいものもありましたが、丁寧に汚れを取りました。清掃後は、見違えるようによく見えるようになりました。



カーブミラーを清掃する交通指導員のみなさん

町内防災一斉訓練を実施（町内各集落）

十一月二十八日、午前九時の防災行政無線からのサイレンと放送を合図に、町内防災訓練が行われました。

佐川集落では、九時の放送とともに公民館に地域のみなさんが集合。防災知識の講話が行われました。

同集落では、事前に消火訓練等を行っており、一斉訓練のこの日は「地震その時どうする」と題し、防災士の資格を有する砂原区長さん自身が講師となり、地震が発生時の行動や非常持ち出し品について話されました。



防災の話しを真剣に聞き入る佐川のみなさん

奥大山古道「記念ウォーク」開催

十一月十三日、奥大山古道のうち鍵掛峠から御机、笠原の区間が整備され、記念ウォークが開催されました。

記念ウォークに町内外から約三百名のみなさんの参加があり、班ごとに分かれて出発しました。案内ガイドの説明を聞きながら、途中、立ち寄った御机集落では、御机団子汁の振舞いや青空市があるなど、奥大山の秋の紅葉を眺めながら記念ウォークを満喫しました。また、ウォーク終了後は、下蚊屋集落で「荒神神楽」が奉納され、参加のみなさんから歓声があがっていました。

また、十一月十九日と二十日の両日、「第三回奥大山蒜山ミーティング」と題し、奥大山古道の取り組みについて話し合いやマイクロバスでの大山周辺の見学会が行われました。



奥大山古道を歩く参加者ら

奥大山江府町関西交流会

十一月七日、大阪で「奥大山江府町関西交流会」（河上勲会長）が開かれ、関西在住の十四名の会員の参加があり、活発な意見交換がされました。

竹内町長はあいさつの中で、最近の町営バス状況、消防団の活躍や交流人口の増加対策について紹介しました。



交流会であいさつする竹内町長

町の特産品を西ノ島へ 江府町西ノ島町経済交流協議会

十月三十日、江府町西ノ島町経済交流協議会総会を西ノ島町で開催しました。また、翌日の三十一日には、西ノ島で開かれた「イカ・まぐろまつり」に本町の特産品の展示即売が行われました。



特産品を求めて賑わう会場

会場には本町の特産品を求めて、たくさんの方々が賑わいました。

みんなで防ごうインフルエンザ

寒く乾燥する時期を迎え、インフルエンザが流行する季節となりました。外出したあとは、手洗い、うがいの習慣を身につけましょう。インフルエンザワクチンは、早めに接種しましょう！インフルエンザをみんなで予防し、元気で明るく過ごしましょう。

今回のインフルエンザワクチンの特徴は？

新型インフルエンザに加えてA香港型とB型のインフルエンザのワクチンも一緒に含まれたワクチンとなっています。1回の予防接種で、3種類のインフルエンザに対する免疫をつけることができます。

インフルエンザ発生状況は？

2010年11月17日に鳥取県内において新型インフルエンザウイルスに感染した方が1名確認されました。また、11月12日にはA香港型インフルエンザウイルスに感染した方も確認され、県内においてインフルエンザの患者が散発している状態です。

また、現在の全国の発生状況は、季節性のA香港型が新型を上回っている状況ですが、これからインフルエンザ流行シーズンを迎え、今後どの型が流行するかはわからない状況です。

引き続き、手洗い、うがい、マスク着用など、感染予防に心がけましょう。

早めに予防接種をしましょう！

予防接種後、ワクチンの効果が出るまで2週間程度かかるので、流行が始まる前に接種することが重要です。予約の有無など、接種する医療機関に事前に確認してください。

お問い合わせ先 役場福祉保健課 電話 75-6111



安全な除雪作業にみなさんのご理解とご協力を

雪が降ると、道路と水路の区別がつかなくなったり、路上の障害物が見つけにくくなったりするなど、危険がいっぱいです。交通安全に十分注意しましょう。

町の除雪方針

積雪がおおむね十五センチメートルを超える場合に行います。

原則午前七時、あるいはバス始発時刻どちらか早いほうの時刻までに作業を終えるようにします。

除雪作業についてお願い

路上、待避所、バス回し場に駐車しないでください。屋根の雪下ろしなどで、路上に出した雪は取り除いてください。

除雪作業中の通行にご協力ください。

歩道・通学路の除雪について、地域の皆様のご協力をお願いします。

防火水槽・消火栓・ゴミ集積所の除雪は、集落でお願いします。

竹が倒れるなどで、除雪に支障がでる場合、集落で撤去してください。

除雪により水路がふさがったり、玄関先などに寄ったりする場合があります。ご理解とご協力をお願いします。

お問い合わせ先 役場建設課 電話 75-3306

竹・木が倒れると除雪ができません。
所有者・集落で撤去してください。



除雪作業中の通行にご協力ください

1月10日は「110番の日」です

「110番」は事件・事故が発生したとき、警察へ連絡していただくための緊急電話です。

110番通報は、警察本部通信指令課（鳥取市）につながります。通信指令課では地図情報システム、カーロケータシステム、携帯電話位置情報システム等により、事件・事故の発生場所ならびに通報して下さった方の位置を素早く特定し、一番近くにいるパトカーなどで警察官を直ちに現場へ向かわせ、事件・事故の捜査や、犯人の検挙等の警察活動を行います。

110番通報された場合には、警察官が次のようなことをお尋ねしますので、落ち着いてお話しください。

何がありましたか

「交通事故」「盗難」「けんか」等、発生した事案を正確に教えてください。

場所はどこですか

「発生した場所」、「あなたのいる場所」を目標物などで分かりやすく教えてください。

いつ頃のことですか

「たった今」とか「今からどれくらい前」など、発生した時間、気がついた時間を正確に教えてください。

犯人（特徴は）

「犯人はそこにいますか？」逃げたのなら「犯人の人数」、「性別」、「逃げた方向」、「手段」、「服装や人相」などを落ち着いて教えてください。

今はどんな状況ですか

あなたのお名前、連絡先、事件・事故との関係を手短かに教えてください

「110番」は事件・事故に対応する緊急電話ですので、緊急性のない問い合わせや相談は、黒坂警察署 電話 74-0110 または、江尾駐在所 電話 75-2054 へお願いします。

その他、警察本部（鳥取市）総合相談電話 0857-27-9110 または、#9110を利用してください。

きれいな水環境をいつまでも

家庭からの生活排水は、身近な側溝や水路をはじめ、河川や海などを汚す原因となります。きれいな水は生活していく上で欠かせないもので、この環境を維持していくためにも、私たちが普段から水を汚さないよう心がけた生活することが必要です。

生活排水を水路等へ流さない取組みとして、下水道への接続及び合併処理浄化槽の整備を併せてお願いいたします。

お問い合わせ先 役場建設課 電話 75-3306

年末の交通安全県民運動が始まります

12月13日（月）～22日（水）までの10日間、年末の交通安全県民運動が実施されます。年末は自動車の交通量も増え、積雪による事故の危険性も高くなります。

また、忘年会など飲酒の機会が増えますので、飲酒運転は絶対しないようにしましょう。車を運転するときは、いつもより少しスピードを控えて、思いやりのある生活をしてみましょう。



思いやりのある運転をしましょう

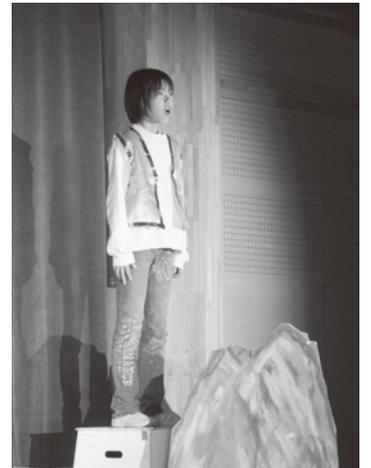
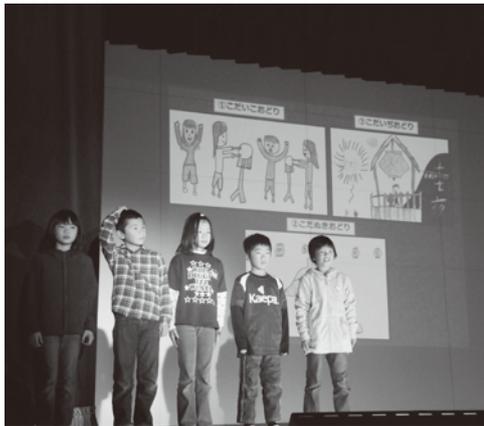
元気いっぱい
夢いっぱい

江府小学校学習発表会

11月20日(土)、江府小学校で学習発表会が開かれました。

統合1年目の昨年は体育館が改築中だったため、江府小学校としての最初の本格的な学習発表会となった今年。児童たちは劇や音楽表現、合奏、合唱などみんなで力を合わせてつくり上げたすばらしい演技を披露していました。

また、会場は保護者や、子どもたちの活躍を楽しみに訪れた地域のみなさんでいっぱいとなり、たくさんのまなざしに見守られ心あたたまる学習発表会となりました。



小地域懇談会を振りかえって ①

平成22年度人権・同和問題小地域懇談会は、10月、11月の2ヶ月間で計画どおり全集落での実施が完了し、12月6日、出向者反省会を開催しました。今年は、「一步前へ！みんなの和と輪でまちづくり—高齢期と人権—」をテーマに取り組みました。ここで、各集落からの意見や反省会の報告をもとに今年度を振り返り、次の取り組みへの一步を踏み出しましょう。



▲集落の目標を作りました(防災・情報センターに掲示中)

今号では、各集落懇談会の記録とアンケート集計結果から主な意見を紹介します。

「参加者アンケートから」

★懇談会に参加してどうでしたか？

よかった 90%

●日ごろ話をしない人や年代の異なる人と話せた。

●自分とは違う意見の人とお互いの意見を尊重しあい理解できた。

●町内の高齢者の状況を知ることができた。

よくなかった 10%

●司会者が、上から目線できとしていた。

●参加者が少ない。

●話す機会がなかった。小グループに分かれたかった。

★懇談会は人権文化のまちづくりに、役立っていると思いますか？

思う 83%

●年一回の取り組みでも大切である。

●同和問題は学習を続けなくてはならない。

思わない 17%

●毎年のことでマンネリ化している。

「集落代表者記録から」

★よかった点

●発言しやすいテーマだった。

●点検シート「高齢者のための国連原則」は初めて聞く言葉でよかった。

●自分のこととして考えられた。

●小グループでの話し合いで笑顔で雰囲気よかった。

●高齢者対策を行政と連携をとりながら取り組んでいくきっかけになるといい。

●今後とも、このような問題をとりあげてほしい。

★反省点・引継ぎ事項

●多くの人に参加していただくために、何か考えねばと思う。

●今後とも、このような問題をとりあげてほしい。

「話し合いの記録から」

★資料のシナリオについて

●認知症になっても人格はあるので、無視せず話し合いは必要。

●妹は、近所に住んでいながら人ごとのような態度はどうかと思う。

●母に問題点があっても、兄の言い方がきつく、いじめのようになっていたと思う。

相手の立場を理解せずに対応していたと思う。

●認知症は、地域や周囲の人に隠さず、理解を得て支えてもらう体制を作るとよい。

●このシナリオのようなケースはよくある。お互いに出るること、思いやり認め合ってみなでやる。

●社会の制度(デイサービスなど)を利用しながら、安全安心なくらしを求めたい。

●「ありがとう」の言葉一つでお互いの気持ちがるなる。高齢者自身も自分のことは自分である心がけとともに。

★高齢者が暮らしやすいまちづくりについて

●認知症になる前に、近所の人とかで話し相手をしたらどうか。

●高齢者には、社会の一員として認めてもらいたいという思いがある。知識・趣味・技術を生かす工夫を。

●核家族化などが原因で、子どもたちが高齢者との接し方をよくわかっていないように思う。「敬老参

観日」などの取り組みをするべき。

●災害時、マニュアルがあっても年々様子が変化している。近所の助け合いはもちろん大事だが、行政に対応をお願いしたい。

●集落の人たちの協力があり、昔ながらのよい絆を持てる。集落で集まって何でも相談しあえる人が多くいるといい。

参加者の総数は四四九名(昨年度比二名増)。このうち五〇歳以上が三三九名で出席者総数の76%を占めています。男女別では男性が二九〇名で全体の66%となつていますが、昨年度より女性の参加者が増えました。個人のアンケートにも、集落代表者の記録にも「出席者が少ない」ことがあげられていましたが、一人一人が人権問題を自分のこととして捉え、まずは参加してみることが大切なのではないでしょうか。

次号では、このようなことを踏まえ、出向者反省会でも出された今年度の反省と、次年度への課題等についてお知らせします。

守られていますか？あなたの人権

「特設人権相談所」を開設

十一月十七日、介護老人保健施設あやめに「特設人権相談所」が開設され、米子地区の人権擁護委員が施設を訪問しました。

「特設人権相談所」は、人権に関する問題（家族の問題、近隣関係の問題、学校・職場の問題など）の相談に人権擁護委員が応じるもので、同時に講演などによる人権啓発も行っています。



この日は、鳥取地方務局米子支局管内の、米子地区人権擁護委員協議会のみなさんが、啓発キャラクターの人権まもるくんとともに、紙芝居

や歌で人権の大切さを訴えました。



町では、このほかに毎月第二水曜日の午前九時から正午まで、防災情報センターで人権相談所を開設しています。今年度の日程は次のとおりです。

一月 十二日
二月 九日
三月 九日

町のみなさんの身近な人権パートナーとして、人権擁護委員が相談に応じますので、小さなことでもどうぞお気軽にご利用ください。

人権コーナー わ わ 和い輪いひろば⑧

今年も小地域懇談会が「高齢者」にかかわることをテーマとして、各集落で実施されております。

誰も一年一年確実に年を取っていきます。「子ども叱るな 来た道だもの。年寄り笑うな行く道だもの。」ということも広く言われています。高齢者にかかわることは、誰もが避けて通れないことです。これを機会にしっかりと学習をし、高齢者にかかわる問題をはじめとしているいろいろな差別問題に気付き、今まで以上に出来るところから、態度で示していきたいと思っています。

ところで、いつの頃だったか、ある集落の小地域懇談会に参加した時でした。その時にお年寄りの方が言われたことが、いまだに心に残っています。それは、「・・・私たちのように年を取ってくると、（差別することは）悪いと思っけていても、長年思い続けてきたことだから身につけてしまっけて、今さらその考えを変えることはなかなか難しいことだ。でも、この考え（差別の心）を自分の中に閉じ込めて子どもや孫たちを始めとして、誰にも伝えていかない、広めていかないことが、私たちにできる最低限なことではないだろうか。・・・」という意味のことを言われていたことでした。

この方のこの言葉は、積極的な態度とは思われませんが、今でも大変重いものだと思っけています。「自分の考えは、変えにくい。それならば、次善の策で広げないように気をつけなければ」という、大変素敵な考え方ではないでしょうか。「自分だけ良ければ」といういわゆる「自己中」が世の中を席卷している時に、です。

このことと同じ意味のことをある講演会で聞きました。その講師さんが差別を拡大していく例として次のようなことを話されました。

「ある時、他の人から『おまえは だ』と言われた。それを真に受けて、自分は だということを受け入れてしまい、『おまえは だ』と言われた腹いせに、自分より弱い立場にいる人に向かって同じ言葉『おまえは だ』と言ってしまっけてすることがありはしないだろうか。このことは、相手を誹謗中傷する言葉をむやみに使うことで、差別を拡大していくことになっけてしまっけて。』と。そして、続けて差別を拡大しないためには、「 と言われたときに、『自分は ではない。どうしてそんなことを言うの？』と相手に問い掛けをして、自分のところで留めておけば、差別を広げていくことにはならないではなっけてるか。』ということでした。

不用意な言動は、人権を大切にしている証です。人権を大切にすると、自分や家族、身の回りの方の幸せを願っけて、それを行動に移していくことだと、私は思っけています。

人権を大切にする・・・難しく考えないで、いつでも、どこでも、自分のできることから始めてみまっけてせんか。

【ペンネーム：Jmy.】

平成二十二年度 第十四回「人権・同和問題」啓発作文・標語 入選作品

【江府小学校】

は最優秀賞 是優秀賞

《一年生》

おもいやり やさしいことば ありがとう(もりたしゅんべい)
ともだちと にこにこえがおで 手をつなぐ(かとう みさ)
なかよしは ともだちたくさん できること(きつ川りり)
手をつなごう いつもいっしょに あそぼう(ようめだりさ)

《二年生》

しあわせは みんなの心が はこぶんだ(しおかりお)
「ごめんなさい あやまるきもちで 心も一つ(白石 ねね)
「ごめんなさい あくしゅをすれば なかなおり(あかいちさき)
気持ちよく さべつなしの ぼくの町(かげ山 大き)

《三年生》

大事だよ 注意のできる そのゆう(気木谷 彰)
「いじめはね してもされても かなしいよ(安田 翔也)
「ありがとう」「そのひと」ことが うれしいな(つ川 あ友)
おもいやり 友だちになる 第一歩(上代 さら)

《四年生》

やつちやだめ いじめは心を きずつける道(下 伊織)
さべつなし みんなの心も あたたかい(中田 花実)
自分が言われていやな事 他人ひと(に)言うのもやめよう(遠藤 未来)
友達の 笑顔はわたしの エネルギー(谷田 咲良)

《五年生》

人権は みんなの宝 大切に(高木 晃汰)
いじめなし 人にやさしい 江府町(長岡 遼真)
つくろつよ 心をつなぐ みんなの輪(池田 季子)
いじめなし みんな明るく 住める町(車 大輔)

《六年生》

差別をなくす その一歩は 自分から(浦部 和奏)
手をつなごう 笑顔いっぱい 江府町(手島 莉菜)
江府町 差別のない町 あたたかい(藤田 日菜)
見直そう 自分の言葉 行動を(小峯 沙智)

【江府中学校】

握手(二年 太田 朱音) 人権に対する思い(二年 下垣 花梨)
祖母への思い(三年 浜田 真衣)

握手

二年A組 太田 朱音

私は、今年「ワクワクこうぶ」で介護老人保健施設あやめに参りました。私は最初、あやめに参るのが正直言つて嫌でした。お年寄りとお話するのはあまり好きではないし、それに以前、こんなことがあつたからです。

それは小学生のころのことです。私は学校の行事で特別養護老人ホームチロルの里に行きました。私たちは太鼓を披露したり、レクリエーションをやつたりと、お年寄りたちと楽しく過ごしました。そしてお別れの時、お年寄りの一人一人と握手をしていくことになりました。「ありがとうごさいます。」「などと声をかけながらやつていると、ある一人のお年寄りが私の手を強力で握りました。すると私の手に爪が刺さり、そこから赤い血がにじんできました。私はどうすればいいかわからなくなり、呆然と立っていました。

そこに老人ホームの職員さんが来られ、「何やつてるの」と手をはずしてくださいました。職員の方は、「ごめんなさいね、本当にごめんなさいね。」「と何回も頭を下げられました。私は「いいえ」と言いつつも、その日からお年寄りと関わりたくな

いと思つよつになりました。

今回、そんな気持ちを持つたまま、私は老人ホームにやつてきました。職員さんからいろいろ話や注意点を聞き、まずは通所実習から始めました。通所とは、デイサービスなどをし、家から通つてこられる人のことを言います。そこで一番びっくりしたのが、老人ホームの方々のあいさつです。明るくそして大きな声で、なおかつ「お元気でしたか?」「調子はどう?」「など、声を掛けておられてびっくりしました。そして、この通所が一番大変だつたこと、それはやはりコミュニケーションでした。私はけつこう人見知りする方なので、なかなか最初の一言が言えません。しかし、勇気を出して話しかけてみました。

それは予想以上に辛かつたです。それでもやつている職員の方々はどう言われました。「相手の目線に合わせて話そう。上から目線で話したりせず、相手に合わせて話そう。」「と。私はこの言葉を聞いて、すごいなと思ひました。それと同時に、これまであまり関わりたくない、嫌だと思つていた自分が恥ずかしくなりました。

するとその人は、笑顔で話して下さいました。好きな食べ物、だんなさんのこと、どこの国に行きたいかなど。話が止まつてしまったこともあつたし、話がかみ合わないこともありましたが、それでもその人は私の話を聞いて、嫌な顔もせず、話して下さいました。そんな当たり前だけど、当たり前前には思つてはいけなかつたが、つれしやつたです。

私は老人ホームに行つて良かったです。こんなにお年寄りについて考えられる機会、きつかけを作つていただけて本当に良かったと思つています。そして、今なら分かります。あのお年寄りが伝えたかつたことが、あのお年寄りは多分、「行かないでもつといて。」「と伝えたかつたのではないかと思ひます。それは私と一緒にいて楽しかつた、ありがとう、だつたのかも知れません。

そんな通所実習も終わり、次は入所実習です。入所とは、あやめに入つておられて、わりと重い病気の方が多ひです。通所のように「とはいかないのです。話しかけても返してもらえないのに、笑顔で話し続けるという

私、人と人とはたとえ話すことができなくても、目を合わせただけで、手を握るだけで相手に気持ち伝わるということを知りました。そして何よりも、相手の立場に立つて人に接することの大切を学びました。

最後に、私の考えを変えてくれた、あやめに関わるすべての人に感謝したいと思います。本当にありがとうございました。



学校お助け隊だより

十一月町報で、江府小学校三年生への学校支援の様子をお伝えしましたが、今回は、その際の子どもの感想を紹介します。

こつふ町の知らないところがある見られて、すごくべん強になりました。また野川発電所は、川の水で電気を作っているなんてはじめて知りました。まがい仏でかいだんを上がる時、ななめになっていて、岩のところがかいだんを上るでこわかったです。下蚊屋荒神神楽では、やまたのおろちをしていました。わたしたちも、保育園のときにしたことがあるけど、いしょうが本物みたいでびっくりしました。あと、すさのおのみこの服だけでも、三百万円もするなんてびっくりしました。旧江尾発電所は、また野川発電所より古い発電所で、石でできている発電所なので、とてもめずらしいたてものでした。すごくべん強になる一日でした。

また、十一月一日には、四年生の社会科（地域学習）の学校支援を行いました。子ども達は、実際に現地に足を運び、実物にふれることで「江府町のよさ」を改めて発見することができたように思います。

学校お助け隊で作業を続けていました江府小学校屋外倉庫の屋根が完成しました。今後、倉庫の使い方について小学校と相談しながら仕上げをしていく予定です。

また、一月中旬に江府小学校のスキー教室が計画されています。ご協力いただける方は、ご一報ください。よろしくお願ひします。

【お問い合わせ】

学校支援地域本部事務局

七五 二二二三三



カイル先生のほのぼのコラム③

Hello everyone,

It seems like just yesterday I wrote the last newsletter. Time is flying by. This past month has been fun but not very eventful. I finally got a car! I look forward to traveling around the prefecture and seeing the sights. Last weekend I went to Tottori Hanakairo. It was very pretty with the leaves in full color and snow on top of Mt. Daisen. I'm not very excited about the upcoming winter (I hate the cold) but maybe I will try to learn to ski. I hear a lot of people around here go skiing in the winter. I think my Japanese is starting to get a little better. Every once in a while I can actually understand something! I will have to keep studying I guess. Wish me luck. I hope you have all had as pleasant a month as I have. Until next time...

こんにちはみなさん。

前回のニュース・レターを書いたのが昨日のように感じます。時がたつのは早いです。今月は楽しかったのですが、行事はそう多くありませんでした。（しかし）ついに車を手に入れました！県内を回って景色を見るのが楽しみです。先週末はとっとり花回廊に行きました。色とりどりの紅葉や大山頂上の雪でとてもきれいでした。私はもうすぐ冬が来ることでワクワクはしてはいません（寒いのが苦手なのです）が、多分スキーに挑戦するでしょう。このあたりの人たちの多くは冬にスキーに出かけると聞いています。私もわずかながら日本語がわかりかけ始めたと思っています。ときどきですが、本当に意味がわかるときがあるのです！勉強し続けなければならないだろうと思っています。応援してくださいね。皆さんも私のように楽しいひと月を過ごされたなら、私もうれしいのですが。それではまた次回。

第49回江府町卓球大会 (小学生・地域の部)



第四十九回江府町卓球大会
(小学生・地域の部)が、十一月七日、運動公園総合体育館において開かれました。

選手たちは、元気な声をあげ、寒さを吹き飛ばす熱い戦いを繰り広げていました。結果は次のとおりです。

地域の部

団体戦

*予選4チームずつの二リーグ、一位のチームで決勝戦
一位 本町一丁目・A
二位 貝田スーパーパワーズ

個人戦

一般男子

*予選四リーグ、一位通過者による決勝トーナメント
一位 安田 健佑(貝田)
二位 下村 尚之(江府中)
三位 神庭 尚也(江府中)
三位 岡田 捷豊(江府中)

セミシニア男子

*予選三リーグ、一位通過者による決勝トーナメント
一位 森田 稔(貝田)
二位 森田 宏一(貝田)
三位 川上 卓也(本町一)

一般女子

*予選二リーグ、各リーグ上位2名の決勝トーナメント
一位 浜田 真衣(小江尾)
二位 吉川 幸(一旦)
三位 岡田 千里(新)

フリー

*予選二リーグ、各リーグ上位2名の決勝トーナメント
一位 下原 佑太(深山口)
二位 田口 大洋(本町一)
三位 岡田 典枝(新町一)
三位 清水 隆弥(小江尾)

小学生の部

個人戦

1・2・3年生の部

*出場四名の総当りリーグ
一位 浜田 恵太(小江尾)
二位 吉川 友菜(本町二)
三位 吉川 理梨(本町二)
四位 加藤 怜生(武庫)

4・5・6年生の部

*予選四リーグ、一位通過者による決勝トーナメント
一位 加藤 尚紀(助沢)
二位 生田 奨(新道)
三位 加藤 俊平(武庫)
三位 浜田 直明(小江尾)



地域の部個人戦優勝のみなさん

冬になると、積雪や寒さで身体を動かす機会が減ってきます。卓球は二人そろえば楽しめる気軽な屋内スポーツです。運動不足解消にあなたもチャレンジしてみませんか？

おめでとうございます

清水保菜美さんが2010年度鳥取県教育委員会表彰受賞

優秀な児童生徒や、教育分野で貢献した個人・団体をたたえる、鳥取県教育委員会表彰の表彰式が、十一月十六日に鳥取県立図書館で行われました。
このうち、篤行生徒として清水保菜美さん(米子南高校三年・袋原)が、学校長の推薦により表彰されました。概要は次のとおりです。

何事においても真面目に一生懸命取り組む性格から、生徒のみならず教員からの信頼も厚く、遠距離通学を続けながらも学業と部活動を両立させている。特に、学業面では独学で資格取得するなど積極的な姿勢が見られるとともに、部活動においては高校から始めたボート部で地道なトレーニングを続け、全国選抜大会で六位入賞、国民体育大会中国予選で優勝するなど、その実力は高く評価されており、他の生徒の模範である。

清水さんの話
表彰されると聞いて驚きましたが、これまで頑張ってきたことを認めてもらえてとてもうれしいです。
今まで支えて下さった方々に感謝したいと思います。ありがとうございました。



レースを終えて(清水さん提供)

図書館まつり 2010

町立図書館では、十一月三日から二十七日まで「図書館まつり」を開催、たくさんの方の来場者でにぎわいました。



【ミニコンサート】

十一月十九日、山陰地方を代表するゴスペルグループ「ゴスペル・オーブ」とジャズグループ「伯爵ジャズ倶楽部」を招き、ミニコンサートを開きました。ゴスペル・オーブは美しさと迫力のある歌声、

来場者と一体となった楽しい演出で、また伯爵ジャズ倶楽部は心温まる静かな演奏で会場を魅了しました。



【おはなし会&人形劇】

町内ボランティアによるお話や絵本の読み聞かせ、南部町のグループ「おはなし・ドーン」のみなさんの楽しい人形劇「三匹のこぶた」鑑賞会を十一月二十三日に開きました。



楽しいお話や、おなじみのキャラクターによる人形劇は、子どもたちはもちろん、一緒に参加した大人も引き込まれ、秋の午後のひととき、和やかな時間を過ごしました。



【読書講演会】

鳥取県図書館協会長・山田晋さんを講師に迎え「読書で伸ばす学びの力」と題して読書と子どもたちの関わりについてご講演いただきました。

山田さんは、校長として中学校で体験されたことから、読む力が学力の向上に大きく影響すること、幼児期の絵本から活字に親しむことの大切さなどをわかりやすく話され、参加したみなさんからは、「早速実践できそう」などの声が聞かれました。



子供の国保育園園児募集

子供の国保育園では、平成23年度入園の園児を募集しています

入園対象児
募集定員
開所時間

通常保育時間
保育料

その他

家庭で保育に欠ける就学までの児童
150人
平日：7時30分から18時30分
土曜日：7時30分から13時00分
平日：8時00分から16時00分（土曜日：12時00分）
保護者の平成22年度中の所得、税額などにより決定します。
同一世帯児童の同時入所の場合や、多子世帯の児童入所に対して、保育料の軽減を行っています。
障がい児保育、広域入所（他市町村からの通園）、一時保育を行っています。お気軽にご相談ください。



お問い合わせは・・・子供の国保育園 までどうぞ

電話75-2704 FAX75-2860



12月の本棚

～町立図書館より～

♪江府町立図書館♪ 開館時間

平日 8:30～19:00

土日祝 8:45～17:30

TEL: 75-2005

○郷土

TATARA／松本 薫

○科学

ゆかいなパラドックス／マーチン・ガードナー

○家庭

ベニシアのハーブ便り／ベニシア・スタンリー

ニット男子／michiyo

あな吉さんの ゆるベジ フードプロセッサー／朝倉ユキ

○経済

テレビが飛びつくPR／殿村美樹

○漫画・メディア

本家ゴーマニズム宣言／小林よしのり

龍馬伝(完結編)／日本放送協会

○文学

小説家たちの休日／樋口 進

○小説

江(上・中・下)／田淵久美子

最後の卒業生／本田有明

天下商人／高任和夫

一〇〇年前の女の子／船曳由美

○ノンフィクション

私たちが子どもだったころ、世界は戦争だった／サラ・ウォリス

○ヤングアダルト(※小学校高学年～高校生向き図書)

言葉はなぜ生まれたのか／岡ノ谷一夫

まいなす／太田忠司

雨の恐竜／山田正紀

キューピッドの涙 盗難事件／真瀬もと

漱石先生の事件簿／柳 広司

○児童

なんでももってる(?)男の子／イアン・ホワイブラウン

ムカシのちょっといい未来／田部智子

びんの悪魔／ロバート・ルイス・スティーンソン

きな子／ひろはたえりこ

たいせつな友だち／モイヤ・シモンズ

○絵本

クリスマスのきせき／高畠那生

ぎょうれつのできるパンやさん／ふくざわゆみこ

タツノオトシゴのかくれんぼ／ステラ・ブラックストーン

もしも、ぼくがサンタクロースとともだちだったら／富安陽子

しゃっくりがいこつ／マージェリー・カイラー

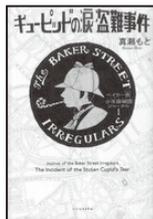
よるくま クリスマスのまえのよる／酒井駒子

せんろはつづく／竹下文子

いやはや／メアリー＝ルイーズ

吾輩は猫である／夏目漱石

1月のえほん／長谷川康男



【郷土】

『TATARA』

松本 薫

時は明治。洋鉄の流入によって鉄価が下がり、日野谷の「たたら」は大きな危機を迎えていた…。

米子市出身の作家・松本薫が、「たたら」の炎が燃えさかっていた明治期の日野谷を舞台に、たくましく生きた人々を描く長編小説!

【ヤングアダルト】

『言葉はなぜ生まれたのか』

岡ノ谷 一夫

動物は「鳴き声」を出せるけれど、「言葉」を話すことはできません。頭のいいチンパンジーでさえ、それは無理なのです。なぜ人間だけが言葉を持つようになったのでしょうか?

人間の「ことば」の誕生の謎を楽しみながら学べる本。

【絵本】

『クリスマスのきせき』

高畠 那生

クリスマスの日、ペンギンたちから七面鳥へ雪景色のプレゼント。ところが、雪を運ぶ途中、雪の箱が崖から落ちて、さあ大変! はたして無事にプレゼントできるのでしょうか? 最高にステキな奇跡が起こります。

休館日のお知らせ

12月29日(水)

～1月5日(水)

農業委員会だより



第27回日野郡委員研修を開催

10月29日、日野町山村開発センターで日野郡農業委員研修会と同町内リバーサイドひので交流会が行われ38名が参加しました。

「平成の農地改革」といわれる改正農法等が昨年末より実施され、農業委員としての役割と機能は一層増大しております。今回講師として、鳥取県農業会議会長川上一郎氏から「農業の基本的課題と農業委員会の今日的役割について」の講演をしていただきました。

過去30年間の米の消費動向がそのまま推移すれば、今後ますます、水田の遊休農地が増えることが予想され、このため、水田利用の安定に向け、基本食料であり、水田に最適である米の消費拡大の(40% 50%)推進を強化することが重要であることを強調されました。そのためには地域の農業者間の仲人役として期待と責任の重大さを痛感しました。

また、日本の農業、農村に暮らすものが安心し

て生産と生活を送ることができるような道筋と国策として税金を投入し、農業基盤を構築していくことが急務であることを力説されました。

交流会では、中山間地域の農業環境や最近、深刻化している鳥獣被害について談笑の中に意見交換ができ有意義な一日でした。



私も入って
公的年金で
安心です



高津 道喜さん
(御机)

農業者年金は個人毎の
積立方式の年金です。

で安心

老後の備えは農業者年金

国民年金第1号被保険者で年間60日以上農業に従事する60歳未満の方は誰でも加入できます。保険料は月額2万円から6万7千円単位で選択できいつでも見直せます。その他詳しい内容や加入についてのご相談は農業委員会までお問い合わせください。

購読者募集中!

全国農業新聞

発行日：毎週金曜日

購読料：1か月 600円

発行所：全国農業会議所

申込先：江府町農業委員会事務局へ

電話番号 75-3222

農業委員会総会 (11月)

審議案件は、全て承認されました。

1) 農用地利用集積計画について 3件

農地相談会のご案内

農地の売買、貸借、転用など農地に関して日頃困っておられる事がありましたらお気軽にお越しください。農業委員が交替で相談に応じます。

相談日 12月28日(火) 午後1時30分
山村開発センター



INFORMATION—INFORMATION—INFORMATION—INFORMATION—INFORMATION—INFORMATION—INFORMATION

年末年始の閉庁・休館・休業について

空欄は、通常どおりです。

施設名等	12月29日(水)		12月30日	12月31日	元旦	1月2日	1月3日	1月4日	1月5日	問合せ先 電話番号
	午前	午後	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	
江府町役場			閉庁	←				閉庁		75-2211
江府町総合健康福祉センター			閉庁	←				閉庁		75-6111
江府町教育委員会			閉庁	←				閉庁		75-2223
子供の国保育園			休園	←				休園		75-2704
江府町老人福祉センター			閉庁	←				閉庁		75-2942
防災情報センター			閉庁	←				閉庁		町公民館 75-2005
江尾診療所		休診	←					休診		75-2055
江府町運動公園		閉館	←					閉館		75-3229
江府町立図書館		閉館	←					閉館		75-2005
し尿処理施設 清化園		休業	←					休業		75-2224
ゴミ処理施設クリーンセンターくぬぎの森			休業	←			休業			74-0333
リサイクルプラザ		休業	←				休業			0859-68-4071
くみ取り業者 いづはら		休業	←					休業		75-3701
町営バス				運休	←		運休			役場町民生活課 75-3223
J R西日本(米子支社管内)				←	土休日ダイヤで運行	→				

年末年始のごみ収集は分別収集カレンダーをご覧ください。
役場では、閉庁日でも戸籍に関する届出(死亡届など)を受領しています。

平成22年度調理師業務従事者の方は2年に1度の届出を!

調理師法第5条の2の規定に基づき、指定受理機関の社団法人鳥取県調理師連合会では調理師業務従事者の届出受理を行います。

指定届出受理機関 社団法人鳥取県調理師連合会 〒682-0123 東伯郡三朝町三朝910番地4
電話0858-43-1905 届出受理機関 平成23年1月5日~1月15日 午前10時30分~午後3時30分
(ただし、木曜日、日曜日及び祝祭日は除く) 届出義務者 平成22年12月31日現在、寄宿舍、学校、病院、事業所、社会福祉施設、介護老人保健施設、矯正施設のうち継続して1回20食以上または1日50食以上を調理して供与するもの、飲食店営業、魚介類販売業、そうざい製造業、その他(自衛隊、給食センター等)

戦後強制抑留者に対する特別給付金について

「戦後強制抑留者に係る問題に関する特別措置法」に基づき、平和祈念事業特別基金から戦後強制抑留者の方へ特別給付金が支給されます。

対象者 昭和20年8月9日以来の戦争の結果、同年9月2日以後、次の地域に強制抑留された方で、平成22年6月16日(法律施行日)に日本国籍を有するご存命の方 対象地域 シベリア、ヨーロッパロシア、中央アジア、及び北樺太(北緯50度以北)を含む沿海州又は外蒙古 給付額 本邦への帰還時期により支給額が異なります。 請求方法 以前に基金から特別慰労品の贈呈を受けられた方は、請求案内が送付されます。それ以外の方は、お問い合わせ先へご連絡ください(後日、書類が送付されます。)

請求期限 平成24年3月31日まで お問い合わせ先 〒162-8672 東京都新宿区若松町19-1 総務省第2庁舎(独)平和祈念事業特別基金 特別給付金担当 電話 0570-059-204(ナビダイヤル有料電話) <午前9時から午後6時まで(土日祝休)>

サントリー天然水工場(ブナの森工場)内のツアーアテンダント(契約社員)募集!

あなたのサービスでお客様に笑顔を! 充実した研修で未経験の方も安心です

時給 1,000円(研修1か月/950円) 勤務地 サントリー天然水株式会社/ブナの森工場(江府町大字御机1177番地) 勤務時間 8:30~17:00 休日 週休2日制(工場業務日に準ずる)、有給休暇
待遇 賞与有(社規定による)、社会保険完備、制服貸与、残業手当、マイカー通勤手当有 契約保養施設有 資格 基本的なPC操作(word・excel)ができる方 お客様の目線でサービスできる方歓迎
応募方法 履歴書(写貼)を平成23年1月4日(火)までに下記の送付先へ郵送してください。書類選考後、通過者のみ面接日等の詳細が連絡されます。 面接地 ブナの森工場(現地)
お問い合わせ・送付先 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-13-5 赤坂エイトワンビル3F
サントリーパブリシティサービス株式会社 電話 03-5532-0620 担当 清水・加藤

行事あれこれ

12月

都合により、日程が変更される場合があります。

1月

日曜日	行事名	場所	時間
13 月	公民館講座(絵手紙・油絵)	防災・情報センター	13:30~15:30
14 火	ふれあいデー	子供の国保育園	10:00~11:30
	広域隣保活動(パソコン教室)	本町五丁目集会所	13:00~15:00
	公民館講座(パッチワーク)	防災・情報センター	13:30~15:30
15 水	はつらつ運動教室	総合健康福祉センター	13:30~15:30
	公民館講(ヒップホップ)	防災・情報センター	19:00~20:30
16 木	犬・猫引取り(事前連絡必要)	総合健康福祉センター	9:30
	明德学園	防災・情報センター	9:30~16:00
	ふれあいデー	子供の国保育園	10:00~11:30
	もの忘れ外来	江尾診療所	受付13:00~16:00
	公民館講座(陶芸)	創作館	13:00~16:00
	広域隣保活動(陶芸教室)	本町五丁目集会所	19:00~21:00
17 金	保育園お楽しみ会	子供の国保育園	9:30~
	広域隣保活動(陶芸教室)	本町五丁目集会所	19:00~21:00
18 土	公民館講座(ガラスアート)	防災・情報センター	13:30~15:30
	広域隣保活動(カラオケ教室)	本町五丁目集会所	19:30~21:00
19 日	江府町スキー場開き	奥大山スキー場	受付9:30~
20 月	公民館講座(墨彩画)	防災・情報センター	13:30~15:30
21 火	ふれあいデー	子供の国保育園	10:00~11:30
	公民館講座(写真)	防災・情報センター	13:30~15:00
22 水	公民館講座(エアロ&ヨーガ)	防災・情報センター	19:00~20:30
	はつらつ運動教室	総合健康福祉センター	13:30~16:00
	小学校2学期終業式	江府小学校	
23 木	天皇誕生日		
24 金	中学校2学期終業式	江府中学校	
25 土	公民館講座(和紙折紙)	防災・情報センター	13:30~15:30
	公民館講座(いけばな)	防災・情報センター	13:30~15:30
	広域隣保活動(カラオケ教室)	本町五丁目集会所	19:30~21:00
26 日			
27 月	広域隣保活動(生花教室)	本町五丁目集会所	15:00~17:30
28 火	農地相談会	山村開発センター	13:30~16:00
29 水			
30 木			
31 金			

日曜日	行事名	場所	時間
1 土	元旦		
2 日			
3 月	新春マラソン大会	江尾駅前	9:30~12:00
4 火			
5 水			
6 木	ふれあいデー	子供の国保育園	10:00~11:30
	もの忘れ外来	江尾診療所	受付13:00~16:00
	消防出初式	山村開発センター	10:00~
7 金	小学校3学期始業式	江府小学校	
8 土	あそぼうスポーツ	運動公園総合体育館	18:30~20:30
9 日	町成人式	山村開発センター・日輪閣	12:30~16:00
10 月	成人の日		
11 火	中学校3学期始業式	江府中学校	
	人権・行政相談	防災・情報センター	9:00~12:00
12 水	公民館講座(書道)	防災・情報センター	13:30~15:30
	はつらつ運動教室	総合健康福祉センター	13:30~16:00
13 木	家族の会	総合健康福祉センター	10:00~12:00
14 金	ぼちぼち倶楽部	総合健康福祉センター	13:30~15:00
15 土	公民館講座(いけばな)	防災・情報センター	13:30~15:30
16 日			

11月29日島根県安来市内で 鳥インフルエンザ発生！！

感染拡大防止のため以下の点にご注意願います。
特に鶏やチャボ等を飼育している方はお願いします。

- 1 鳥の飼育小屋やその周辺を清潔に保ち、世話をした後は手洗いやうがいをお願いします。(小屋の周りに消石灰をまくのが効果的です)
- 2 野鳥や野ネズミなどの侵入により感染する可能性がありますので飼育小屋に金網や防鳥ネット(2cm角以下)を張り隙間をふさいでください。
- 3 愛玩鳥の死亡や、死んでいる野鳥を発見した場合は役場農林産業課(電話75-3222)まで連絡願います。

感染鶏の肉や卵が店頭に出回ることはありませんが、仮に肉や卵を食べても人が感染することはなく、人体に影響はありません。

広域隣保活動・児童館事業の参加希望者は、本五集会所(☎75-2624)へ連絡して下さい。

ハローワークから求人情報

●求人情報・採用に関するなどは、米子公共職業安定所根雨出張所(電話72-0065)へ連絡して下さい。

ハローワーク根雨では、仕事に関する相談をお受けします。お気軽にご相談ください。

江府町人権同和問題啓発標語

江府小学校5年 木谷 聡 これからの 未来をかえよう 僕たちで
江府小学校5年 小峯 沙智 いじめストップ 笑顔が広がる 江府町

学校名、学年は応募があった平成21年度時点で掲載しています。

人の動き

11月届
(敬称略)

11月の「人の動き」は、ありませんでした。

ご寄付

社会福祉協議会に次の方からご寄付をいただきました。

(11月分) 敬称略

◎見舞い返しとして

荒田 藤原 鈴子 本人退院
下蚊屋 越峠 嘉道 本人退院
大河原 小峯 玉子 本人退院

◎香典返しとして

杉谷 末次 浩司 父勇男死去

チャリティーバザーのお礼

みなさまから11月6日のチャリティーバザーにご協力いただき、96,300円の収益となりました。収益金は、県共同募金会を通じ、町内の福祉事業に活用させていただきます。

ご協力いただきました町民のみなさまに厚くお礼申し上げます。

今後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。 共同募金会江府町支会

町社協職員がボランティアで町道を清掃

12月1日、子供の国保育園から町老人福祉センターまでの町道の歩道が、町社協職員のボランティア活動によって清掃されました。

落ち葉で歩きにくくなっていた歩道は、きれいになりました。



町道を清掃する社協職員

交通死亡事故ゼロ継続日数

1,758日 (12月1日現在)

火災ゼロ継続日数

17日 (12月1日現在)

町の人口	3,520人	(-2)
男	1,647人	(-1)
女	1,873人	(-1)
世帯数	1,143世帯	(±0)

11月末現在 () は前月比

江府町特産物直売所

みちくさ晦日市

お正月にかかせない「お餅」「しめ縄」新鮮野菜
盛りだくさん!!

- 開催日時 平成22年12月26日(日) 午前9時~午後5時
- 場所 江府町特産物直売所「みちくさ」
- 特典 来場者にはとれたて野菜たっぷりの
美味しい豚汁大サービス

●問い合わせ先 佐川「みちくさ」 電話75-2032

◎年末年始の営業について

年内は12月29日(水)まで通常営業をおこない、新年1月7日(金)の初売りまで休業となります。

なお、冬期間(4月上旬まで)は、毎週金・土・日の3日間の営業で時間も午前9時~午後3時となりますので、ご注意ください。

※問い合わせ先 佐川「みちくさ」電話75-2032

「K.F.W.C」・「らんちゅう」共催

クリスマスコンサートを開催! ジャストフレンズが出演

- 日時 平成22年12月23日(木) 14:00~16:00
- 場所 らんちゅう ●電話 77-2200
- チケット 1,000円(コーヒー、ケーキ代を含む)(20名様まで)
- 締め切り 平成22年12月15日(水)

※チケット購入など詳しくは、「らんちゅう」の浦部さんまでお問い合わせください。

製造事業所のみなさまへ

統計調査にご協力ください。

平成22年工業統計調査を12月31日現在で行います。調査の実施にあたっては、本年12月から来月1月にかけて調査員がお伺いします。

なお、調査票に記入していただいた内容については、統計法に基づき秘密が厳守されますので、正確な記入にご協力をお願いします。

- 経済産業省
- 鳥取県
- 江府町(担当:役場総務課 電話75-2211)

今月の国民年金

納付期限

12月分

平成23年1月31日まで

日本年金機構から送られている納付書を添えて金融機関でお支払いください。

なお、口座振替の方は、上記期限が振替日です。

《12月の納税は》

- 町県民税 4期
- 国民健康保険税 7期
- 介護保険料 7期
- 後期高齢者医療保険料 6期

納期限は12月27日(月)です。

(口座振替は12月27日)

他人に迷惑を

かけない

ようにしましょう

江府町

明るく家庭づくりのしおりから



おいしいそばを 「いただきまーす！」

11月19日、子供の国保育園年長児が、保護者の方と一緒に、そば打ちを体験しました。

食生活改善推進協議会(谷口歌子会長)の会員のみなさんの手ほどきにより打ちあがったそばは、早速給食に登場。年長児は保護者の方と一緒に晩秋の風味に舌鼓をうちました。



町長後記

本町の消防団(第一分団)は、去る十一月十二日、愛知県で開催された全国消防操法大会に三十二年ぶりに出場し、見事優勝しました。

出場団員のみなさん、全国優勝おめでとうございます。

今回の優勝は、江府町消防団は元より、町にとりましても喜ばしく、また名誉であります。

今回の全国大会優勝を受け、私といたしましたも消防活動に加え、より一層防災活動にも取り組むことで、町民のみなさんが、「安心、安全に暮らせる町づくり」を目指さなければならぬと強く感じております。

今後も町民のみなさんの消防、防災に関するご協力とご理解を賜りますよう、よろしくお願いたします。

消防・防災に関することは

役場総務課まで

電話 七五・二二二一